

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ボラリスひろば			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 12日		～	2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 12日		～	2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間の情報共有が十分に行われ、チームとして一貫した支援ができています。	・保護者からの意見や要望を取り入れ、支援内容の見直しを行っている。	・保護者への情報提供や意見交換の機会を増やし、より一層の連携強化を目指す。
2	・利用児一人ひとりの特性や発達状況を十分に把握した上で、放課後等デイサービス計画を適切に作成している。	・季節行事や創作活動を取り入れ、子どもの興味・関心を広げる活動を実施している。	・地域や関係機関との連携を深め、幅広い支援体制の構築に取り組む。
3	活動や支援内容について、子どもの様子や変化を踏まえながら、柔軟に見直し・調整を行う体制が整っている。	・次週以降の運動や活動内容について、職員間で事前に共有し、統一した支援が行えるよう意識している。	・支援の質向上を目指し、職員研修や外部研修への参加を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域（放課後児童クラブ・児童館等）や他の子どもたちとの交流の機会がまだ少ない状況にある。	子どもの理解の仕方やつまずきの現れ方がさまざまで、それぞれに応じた支援の視点や方法について、職員間での整理や共通認識が十分に深められていなかった。	職員研修やミーティングを通して、理解の仕方が異なる子どもへの支援方法について学び、支援の幅を広げていく。
2	家族支援の観点から、保護者や家族が参加できる研修会や情報共有の機会が十分とは言えない。	研修会や支援情報の提供について、情報発信が中心となり、参加を促す仕組みが十分ではなかった。	家族も参加可能な内容の研修会や勉強会について、開催方法（短時間・オンライン等）を工夫し、参加しやすい形を検討する。
3	子ども一人ひとりの理解の仕方や得意・不得意には幅があるため、その違いにより丁寧に寄り添った支援について、今後さらに工夫していく必要がある。	日々の活動を安全かつ円滑に進めることを優先する中で、個々の特性に応じた関わり方について、振り返りや検討の時間をより深めていく必要があると考えている。	子ども一人ひとりの理解の特性やつまずきに着目し、視覚的支援やわかりやすい提示方法などを取り入れた支援の充実を図る。